

# 令和4年度 社会福祉法人ヤマト福祉会 事業報告書



社会福祉法人ヤマト福祉会  
「宝生苑」  
特別養護老人ホーム宝生苑  
グループホーム宝生苑  
小規模多機能型居宅介護宝生苑

## 1. 法人

### (1) 概略

- ◎ 法人名 社会福祉法人 ヤマト福祉会
- ◎ 所在地 京都市伏見区桃山町山ノ下 66 番 38
- ◎ 理事長 山本 富美子
- ◎ 設立年月日 平成 25 年 11 月 18 日

### (2) 法人理念

「みんなで作る希望に満ちた豊かさ」

#### ① 居場所の豊かさ

誰もが自らの能力を発揮でき、支え合える、継続的安心と安全の居場所の豊かさ

#### ② 心の豊かさ

人の力を活かし、命を守る、互いに支え合う、夢あふれる心の豊かさ

#### ③ 地域の豊かさ

地域力を伸ばし、エネルギーに活かすことができる。

誇りと活気に満ち溢れる笑顔あふれる地域の豊かさ

## 2. 理事会

### (1) 役員構成（令和 5 年 3 月 31 日現在）

- ・ 理事長：山本富美子
- ・ 副理事長（業務執行理事）：山本毅雄
- ・ 理事：山本富美子、山本毅雄、池谷博行、長谷川千夏、徳平勝、浅田逸規
- ・ 監事：安藤大輔、野村まち子
- ・ 評議員：大泉達也、河合悟、木村慶次、松井陽子、丸橋正典、三好明夫、杉岡一郎
- ・ 評議員選任・解任委員：徳岡博巳、野村まち子、林秀明

### (2) 理事会開催状況

	日程	開催方法	内容	参加者
第 1 回	5 月 20 日	オンライン	令和 3 年度事業報告、令和 3 年度決算報告、令和 3 年度監査報告、令和 4 年度定時評議員会の日時、場所、議題などの決定	理事 6 名 監事 2 名
第 2 回	6 月 21 日	オンライン	理事長及び副理事長の選任、「再発防止委員会」の名称、目的、内容の変更	理事 6 名 監事 2 名
第 3 回	7 月 26 日	オンライン	特別養護老人ホーム 宝生苑 増床計画について	理事 6 名 監事 1 名
第 4 回	11 月 30 日	オンライン	業務執行理事の報告、令和 3 年度半期決算報告 及び 令和 3 年度一次補正予算（案）、理事候補者の選任、退任、評議員選任・解任委員の選任	理事 5 名、 監事 2 名
第 5 回	3 月 29 日	オンライン	業務執行理事からの報告、令和 3 年度二次補正予算（案）、令和 4 年度当初予算（案）及び令和 4 年度事業計画（案）、規定類の制定及び変更（経理規程の変更）	理事 6 名、 監事 1 名

(3) 評議員会

	日程	開催方法	内容	参加者
第1回	6月15日	オンライン	令和3年度決算報告、令和3年度決算報告の承認、令和3年度監事監査報告について	評議員7名
第2回	3月29日	オンライン	理事・監事の選任、入札結果報告、定款変更について	評議員6名

3. 法人事業

【重点目標】

- ◎施設理念と行動指針の推進
- ◎人材確保・定着・育成の強化
- ◎施設サービスの質の確保及び向上
- ◎感染症対策の強化について
- ◎防火、防災管理体制の強化
- ◎家族・地域との関わり、つながりの維持



(1) 施設理念と行動指針の推進

理念と行動指針について、より現実に即した内容を盛り込むため、理念及び行動指針「welfare value」を入職時、や新任職員研修1で学びを深めました。新任職員研修2はコロナ過により延期する事となりました。

昨年度からの引き続きで、人事考課表にも、具体的に理念や行動指針の文言を追記し、年に2回、人事考課面談を通して、理念や行動指針の振り返りを行えるようにしました。

項目	日程	参加人数	内容など
新入職員研修(Ⅰ)	7月26日	※延期	理念及び行動指針「welfare value」
	10月27日	※延期	
	1月24日	3名	
新入職員研修(Ⅱ)	8月24日	※延期	理念及び行動指針「welfare value」振り返り
人事考課面談(前期)	6月頃	全員	直属の上司との面談を実施し、目標の設定を行い、同時に前回の振り返りを実施する
人事考課面談(後期)	11月頃	全員	



以下、「宝生苑 welfare value」、「コンセプト」、「クレド」、「スタッフとの約束」を記載。

## 宝生苑 welfare value

私は宝生苑の一員であることを誇りに思います。

- ◎ 私は、自分らしさを活かして、未来ある福祉を共に創ります。
- ◎ 私は、あらゆる生活場面において、アタリマエの暮らしを追求します。
- ◎ 私は、利用者様の生命、そして人間としての尊厳と権利を尊重します。
- ◎ 私は、利用者様のニーズに、常におこたえします。
- ◎ 私は、いついかなる時にも利用者様の利益を優先し、利用者様との信頼関係を築き、それを維持継続します。
- ◎ 私は、出会う人たちに対して心からのあいさつを大切にします。
- ◎ 私は、利用者様、家族様、地域の方、働く仲間同士のニーズを満たすよう、チームワークや多職種協働を実践する職場環境を築きます。
- ◎ 私は、利用者様の持っている力を最大限に活用し、「自律」した暮らしを支援します。
- ◎ 私は、利用者様、働く仲間、地域や社会に貢献し続けることで、宝生苑の価値・魅力を創るという自分の役割を理解します。
- ◎ 私は、自分のプロフェッショナルな身だしなみ、言葉遣い、ふるまいに誇りを持ちます。
- ◎ 私は、利用者様、職場の仲間、法人の機密情報及び資産についてプライバシーとセキュリティーを守ります。
- ◎ 私は、妥協のない4Sに努め、安全で事故のない環境を築く責任があります。

## コンセプト

「アタリマエの暮らしをあきらめない」

## クレド

宝生苑は、利用者様の満足と期待と信頼に応え、可能な限りお一人お一人の暮らしの継続を実現する事で、利用者様に安全で快適な生活を送れるよう支援することが、もっとも大切な使命であります。私たちは、たえず利用者様のために、自分の利益のみに偏することなく、利用者様の利益を優先し、職業倫理にかけて、プライバシーとセキュリティーを守ることを誓います。こうして築いた信頼関係こそが、私たちの最大の喜びであり、また誇りであります。それらを継続する事で、地域からの厚い信頼を獲得します。

宝生苑は、「アタリマエの暮らしをあきらめない」というコンセプトで運営しています。働く職員にとっては職場ではありますが、利用者様にとっては、特別な空間でありながら、日常のかけがえのない暮らしの場であります。その実現のために、常に、利用者様の真のニーズにお応えしていくことをお約束します。

## スタッフとの約束

宝生苑では、利用者様のアタリマエの暮らしの実現のためには、誇りをもって仕事をするスタッフがもっとも大切な資源です。

尊厳、貢献、誠実、互助を原則として、私たちは、個人と法人のためになるよう、持てる才能を育成し、最大限に伸ばします。お互いの多様性を尊重し、充実した生活を深め、個人の志を大切にします。

宝生苑はこのような職場環境をはぐくみます。

(2) 人材確保・定着・育成の強化

<人材確保>

(1) 新卒採用について

今年度は新型コロナウイルス感染症によるクラスター等の影響により、新卒採用活動に予定していた予算の獲得が困難となったため、協議の結果、当初予定していた採用活動の一部を停止することとなりました。これにより、新卒採用数は2名の予定でしたが結果は0名でした。

(2) 中途採用について

正職員3名、準職員1名、パート1名の採用がありました。

就業開始	職位	配属ユニット
4月1日	正職員・介護職	特別養護老人ホーム 春風
5月1日	準職員・介護職	特別養護老人ホーム 春風
5月1日	正職員・介護職	特別養護老人ホーム さくら
9月25日	パート職員・介護職	小規模多機能型居宅介護 心智
11月16日	正職員・生活相談員	事務所

(3)外国人介護人材について

特定技能について

- ・2名の職員を特定技能として採用しました。

就業開始	国籍	配属ユニット
9月27日	ミャンマー	グループホーム 大地
1月21日	ベトナム	特別養護老人ホーム さくら

(4)SNS、季刊誌、パンフレット、ホームページについて

①SNS 令和5年3月31日現在

掲載件数は合計42件/2,789いいねで、1ヶ月あたりの平均掲載件数は約3.5件掲載の232.4いいねとなり、1件あたり平均約92.4いいねと高水準でした。

また、動画の掲載件数は合計31件/1,701いいねで、1ヶ月あたりの平均動画件数は約2.58件掲載の141.75いいねとなり、1件あたり平均約54.9いいねと高水準でした。

小多機のフォロワー数は1,682件、宝生苑のフォロワー数は1,596件でした。

SNSの種類	投稿回数	平均いいね数	フォロワー数
Instagram 掲載	42回	約92.4	宝生苑 1,596
Instagram 動画	31回	約54.9	小多機 1,682

②季刊誌

予算の見直しに伴い今年度は中止することとなりました。

<人材定着、育成>

(1) リーダー育成研修について

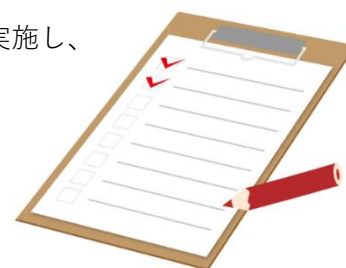
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、停止することとなりました。

(2) 「キャリア段位制度」を基準とした OJT の導入

- ・職員の介護技術などのスキルの統一化を図り、ご利用者のサービス向上に向けた取り組みとして「キャリア段位制度」に準じた内容の OJT を各ユニットに対して 12 月より段階的に導入しました。

(3) 施設サービスの質の確保及び向上

- (1)利用者、そのご家族等に向けて、令和 4 年 11 月に顧客満足と調査を実施し、当委員会で把握、分析を行い、令和 5 年 1 月の運営推進会議で報告し、サービスの質の向上に取り組んでまいりました。



<令和 4 年度利用者満足度調査アンケート集計結果>

- ・実施月：令和 4 年 11 月

対象者	ご利用及びご入居されている方			ご家族(ご利用者関係者)		
	配布数	回答数	回答率	配布数	回答数	回答率
全体	71	59	83.1%	72	46	63.9%
特別養護老人ホーム	29	23	79.3%	29	20	69.0%
グループホーム	27	20	74.1%	27	16	59.3%
小規模多機能	18	16	88.9%	18	10	55.6%

<アンケート詳細 (ご利用及びご入居されている方) >

アンケート質問内容	はい	ふつう	いいえ	わからない	無回答
相談事があった際に相談しやすいですか？	23	16	4	15	1
ケアプランの内容に満足していますか？	20	19	0	20	3
ご利用者様は宝生苑での生活に満足されていると思いますか？	31	20	2	5	0
電話やオンライン面会を利用したことはありますか？	29		28	9	0
宝生苑のコロナ感染拡大防止策に関してご意見をお聞かせ下さい。	14	0		44	1
コロナ関連で施設からの情報提供は足りていますか？	12		5	38	5
職員の言葉使いや対応に満足していますか？	28	24	4	3	
ユニットからのお便りや施設発行の広報誌はご覧になられますか？	2		12	41	2
ユニット職員は心配事への相談、十分な対応をしてくれますか？	42		6	13	8

< アンケート詳細（ご家族(ご利用者関係者) ) >

アンケート質問内容	はい	ふつう	いいえ	わからない	無回答
相談事があった際に相談しやすいですか？	33	12	1		0
ケアプランの内容に満足していますか？	31	14	1		0
ご利用者様は宝生苑での生活に満足されていると思いますか？	27	13	2		2
電話やオンライン面会を利用したことはありますか？	24		19		3
宝生苑のコロナ感染拡大防止策に関してご意見をお聞かせ下さい。	40		2	2	2
コロナ関連で施設からの情報提供は足りていますか？	34		9		3
職員の言葉使いや対応に満足していますか？	31	10	2		3
ユニットからのお便りや施設発行の広報誌はご覧になられますか？	39		2		4
ユニット職員は心配事への相談、十分な対応をしてくれますか？	41		2		3

(2)ご利用者の権利擁護、高齢者虐待・身体拘束「0」に向けての取り組みについては、(7) リスクマネジメント委員会で記載しているため、割愛しております。

(3)業務効率化のための ICT 化の推進

①研修関係

●法人内情報共有ツール「チャットワーク」で研修課題や動画などを共有する。



●職員は内容を確認し、「Google Form」にて研修報告書を回答する。



●同時に研修報告書及び研修管理表が自動的に作成され、事務作業の効率化を図れた。

年間の全職員向けの定例研修（計 9 回）については、全て上記の方法を選択し、実施しました。

②人事労務管理関係

- ・勤怠管理、タイムカードについては、数社と打ち合わせをし、実施に向けて検討までとなり、導入までには至っておりません。来年度も引き続き実施に向け、検討を継続します。
- ・給与明細を紙媒体から WEB 媒体へ変更することも同時に検討しており、令和 4 年 4 月に導入済みとなり、ペーパーレス化、給与明細書の配布作業が削減し、事務作業の効率化を図っております。

③見守りセンサー、インカム導入によるユニットの効率化

- ・見守りセンサーの導入は一部に限られております。引き続き必要に応じ検討していく予定です。
- ・インカムについては、「令和3年度京都府介護ロボット等導入支援事業」の補助金を活用して、導入。検証して参りましたがWIFI環境等の不備から効率的な活用を検討して参ります。眠りスキャンとインカムと現在使用しているケアカルテとの連動する事が可能であり、更なる業務効率化実現の為、実施・検討して参ります。

(4) 感染対策の強化について

①委員会の実施について

日程	内容	参加人数
4月23日	新型コロナウイルス対策、ハラスメントについて	7人
5月28日	食中毒について、メンタルヘルスについて	7人
6月25日	中止（新型コロナウイルス感染症発生の為）	0人
7月23日	腰痛肩こり等について	7人
8月27日	新型コロナウイルスについて	7人
9月9日	中止（新型コロナウイルス感染症発生の為）	0人
10月22日	メンタルヘルスについて	8人
11月26日	血圧について	9人
12月24日	中止（新型コロナウイルス感染症発生の為）	0人
1月21日	メンタルヘルスについて	7人
2月25日	振り返りと来年度の計画立案	8人
3月25日	感染対策マニュアルの見直し	8人

②感染対策に関する活動報告

- マニュアル及び指針の整備：令和4年4月1日改定済み（新型コロナウイルスの対策やゾーニングの考え方が変更になったための全面改訂）
- 訓練（シミュレーション）：各ユニットで、ゾーニングのシミュレーションを行い、あわせて、看護職員がガウンテクニックの訓練を実施しました。
- 感染対策のBCPについては、具体的には検討できておらず、令和4年度以降にBCPプロジェクト委員会が設置されるので、そこで検討することとなります。

(5) 防火、防災管理体制の強化

- ①昨年度から引き続き、消防計画に基づき、防火管理者、火元責任者を配置して防災対策を行っております。防火管理者：林秀明

②自衛消防訓練及び非常災害に関する避難訓練について

日程	内容
6月3日	火災発生時の通報訓練及び消火訓練を実施
6月8日	消防点検を実施（消防署）



10月13日	災害避難訓練（水害訓練）を実施
3月8日	火災発生時の通報訓練及び消火訓練（総合訓練）を実施

③ 非常災害時の BCP については、具体的には検討できておらず、令和 5 年度以降に BCP プロジェクト委員会を設置し、そこで検討することとします。

(6) 地域との関わり、つながりの強化

① 運営推進会議について

2ヶ月に1回開催されている運営推進会議は、新型コロナウイルス感染症の影響のため、全て、書面開催となりました。

【運営推進会議の開催状況について】

	日程	開催方法	内容
第1回	5月31日	書面開催	全体報告、小規模多機能型居宅介護の外部評価報告、小規模多機能型居宅介護の連泊者の報告
第2回	8月23日	書面開催	全体報告、グループホーム「外部評価」について及び、小規模多機能型居宅介護の連泊者の報告
第3回	10月18日	書面開催	全体報告、コロナの発生状況について、グループホームの外部評価（目標達成計画）小規模多機能型居宅介護の連泊者の報告
第4回	11月15日	書面開催	全体報告、風水害訓練・小規模多機能連泊者報告
第5回	1月28日	書面開催	全体報告、満足度調査（中間報告）、グループホーム（京都市外の方の情報共有など）小規模多機能型居宅介護の連泊者の報告
第6回	3月31日	書面開催	外部評価（小規模多機能型居宅介護）

② 「宝生苑 家族会」

10. 家族会（「宝生苑家族会」）に記載しているため、割愛いたします。

③ 地域、ご家族とのコミュニケーションやニーズについて

- ・ 昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症のため、地域の会議は実施されませんでした。その中で、2か月1回発行されている「桃山東だより」に掲載させて頂き、地域へ、宝生苑での取り組みなどを発信いたしました。
  - ・ ご家族については、毎月、新型コロナウイルスの施設内の状況などのお知らせを送付
  - ・ ご家族のニーズについては、「利用者満足度調査」を毎年実施しており、ご意見を言って頂く件数が増えてきております。可能な限りニーズにお応えできるように活動して参りました。
- 令和3年度同様に地域との有機的なコミュニケーションを実施できていなかったため、地域のニーズを拾うところまで着手できておらず、令和5年度の検討となります。

【施設全体の管理・委員会活動について】

(1) 研修委員会

◎重点目標

- 「オンラインでの研修を企画及び受講できるための、環境整備、仕組みづくり」
- 「職員育成計画の内容を見直し、階層別、役職者別の研修プログラムの充実化を図る」

◎取組内容

①委員会の実施について

- ・ 1ヶ月に1回委員会を開催しました。(第1金曜日 15:45~16:30)

日程	内容	参加人数
4月8日	OJT 仕組み作り、介護書籍について、事業報告について	8人
5月6日	令和3年度の研修受講状況の確認、感染対策について	8人
6月10日	令和4年度の研修計画の確認、避難訓練報告、ノートルダム女学院が学生受け入れについて	5人
7月8日	高齢者虐待防止、身体拘束禁止、金銭管理など・非常災害について	6人
8月	※コロナウイルス蔓延により、延期	0人
9月	※コロナウイルス蔓延により、延期	0人
10月7日	「認知症ケアについて」	8人
11月4日	委員長変更・感染対策について	7人
12月9日	看取りについて、接遇について	6人
1月	※コロナウイルス蔓延により、延期	0人
2月3日	事故防止②について、避難訓練②について	6人

②職員の資格取得のためのサポートを実施します。(介護職員初任者研修、実務者研修)

令和4年度 実務者研修補助制度 2名

③研修について

<令和4年度事業所内 新任職員研修>

※【重点目標】(1)施設理念と行動指針の推進 に記載

<中堅職員研修(リーダー)>

- ・対象者：介護福祉士・社会福祉士・看護師・管理栄養士・実務者研修修了者  
勤続年数1年以上(社会人経験3年以上)(役職の有無は問わない)
- ⇒令和5年度に延期となる。

<ケアマネージャー向け研修会>

- ・対象者：事業所内で介護支援専門員の資格を持っており、計画作成業務に携わっている者
- ⇒中止(令和5年度に延期)

<リーダー育成研修>

※【重点目標】(2)人材確保・定着・育成の強化 <人材定着、育成>  
(1)リーダー育成研修について 記載

<令和4年度事業所内研修>

毎月実施している研修については、以下のとおりeラーニングを中心に実施しました。

開催月	研修内容	時間	担当
令和4年4月	ハラスメントについて①	E-ラーニング	研修委員会
令和4年5月	感染対策①について	E-ラーニング	研修委員会
令和4年6月	褥瘡対策について	E-ラーニング	研修委員会
令和4年7月	虐待・身体拘束防止、金銭管理①について	E-ラーニング	研修委員会
令和4年8月	事故防止①について	E-ラーニング	研修委員会
令和4年9月	利用者の権利擁護・法令遵守について	E-ラーニング	研修委員会
令和4年10月	認知症ケアについて・水害避難訓練について	E-ラーニング	研修委員会
令和4年11月	感染対策②について	E-ラーニング	研修委員会
令和4年12月	看取り・接遇について②	E-ラーニング	研修委員会
令和5年1月	ノーリフティングケアについて	E-ラーニング	研修委員会
令和5年2月	事故防止②について	E-ラーニング	研修委員会
令和5年3月	虐待・身体拘束防止、金銭管理②について ・夜間避難訓練	E-ラーニング	研修委員会

◎評価及び課題について

- ・対面での研修の再開が難しい中、習熟度を上げていくためには、ユニット会議などを工夫し、復習する機会を作れるよう検討していきます。
- ・外国人の職員が増えていくことが見込まれる中、外国人にも理解できるような研修の内容を検討していく必要があります。
- ・研修に参加することがメインとなっているため、今後は習熟度をはかる、定期的にテストのようなものを実施していくことを検討します。
- ・研修についての職員のニーズを把握し、「学びたい」意識を大切にいきます。
- ・介護技術についての定例研修が存在していないため、「能力」を向上させる研修プログラムを検討していきます。
- ・増床を視野にいれた OJT 制度の実現に向けた取り組みが進んでいない。OJT の指導する側の育成が課題となっている。宝生苑の基準となる質の高い介護の実現に向けた振り返りや定期的な打合せを実施検討していく。

(2) 感染対策衛生委員会

◎重点目標

(衛生委員会)

「職員の健康維持に努め、快適な職場環境の実現に向けて取り組みます」

(感染対策委員会)

「新型コロナウイルス含む感染対策マニュアル類の整備を行い、感染予防・感染対策の徹底を図ります。」

◎取組内容

①委員会の実施について

- ・1ヶ月に1回委員会を開催しました。(第4土曜日 12:30~13:30)

※感染対策委員会の内容については、【重点目標】(4) 感染対策の強化について に記載

	内容	参加人数
4月23日	新型コロナウイルス対策、ハラスメントについて	7人
5月28日	食中毒について、メンタルヘルスについて	7人
6月25日	中止（新型コロナウイルス感染症発生の為）	0人
7月23日	腰痛肩こり等について	7人
8月27日	新型コロナウイルスについて	7人
9月9日	中止（新型コロナウイルス感染症発生の為）	0人
10月22日	メンタルヘルスについて	8人
11月26日	血压について	9人
12月24日	中止（新型コロナウイルス感染症発生の為）	0人
1月21日	メンタルヘルスについて	7人
2月25日	振り返りと来年度の計画立案	8人
3月25日	感染対策マニュアルの見直し	8人

## ◎評価及び課題について

## &lt;評価&gt;

- ・前年度の対応を継承しつつ、新型コロナウイルス感染症の予防について注意喚起や必要な情報提供等を行い、感染症が発生した際にもメンバーが適切に対応にあたった。
- ・BCP(新型コロナウイルス感染症)作成に関わり、メンバーが有意義な提言を行った。
- ・年間を通してメンタルヘルスや腰痛予防等について職員に有益な情報提供を行った。

## &lt;課題&gt;

- ・情報提供を行ったが、職員の反応や効果が不明なため今後の改善の仕方が分からない（PDCAのCAがない状態）
- ・情報を周知する際にどのような方法であれば確実に効果が得られるかよく考えた上で行う
- ・研修の少なさ
- ・安全衛生活動について、委員会だけでなく施設の取り組みとして行うことを増やしていく

## (3) 採用広報委員会

## SNS への動画を含めた掲載

	取組内容（会議の実施, イベント, 取組内容等を可能な限り数値化（人数, 日付等）して記載してください）
4月	SNS：6件／378 いいね
5月	SNS：4件／238 いいね 動画3件／229 いいね
6月	SNS：3件／234 いいね 動画4件／201 いいね
7月	SNS：4件／282 いいね 動画2件／98 いいね
8月	SNS：1件／62 いいね 動画1件／90 いいね
9月	SNS：3件／220 いいね 動画6件／361 いいね
10月	SNS：3件／252 いいね 動画5件／239 いいね
11月	SNS：5件／307 いいね 動画2件／77 いいね
12月	SNS：3件／214 いいね 動画2件／97 いいね
1月	SNS：4件／216 いいね 動画1件／55 いいね
2月	SNS：4件／267 いいね 動画2件／89 いいね
3月	SNS：2件／119 いいね 動画3件／165 いいね

## 2. 令和4年度計画に対しての評価

（評価すべき点、課題になった点の2つの視点で記載して下さい。）

令和4年度の掲載件数は合計42件／2,789 いいねで、1ヶ月あたりの平均掲載件数は約3.5件掲載の232.4 いいねとなり、1件あたり平均約92.4 いいねと高水準でした。

また、動画の掲載件数は合計31件／1,701 いいねで、1ヶ月あたりの平均動画件数は約2.58件掲載の141.75 いいねとなり、1件あたり平均約54.9 いいねと高水準でした。

小多機のフォロワー数は1,682件、宝生苑のフォロワー数は1,596件でした。

課題としては、掲載数の格差があることです。小多機と特養さくらの掲載が多く、春風清水、太陽と続きますが委員会メンバーのいない「ねね」「大地」は掲載なしとなり、こういった形で取り組んでもらえるかが今後の課題かと思えます。



SNS の掲載例

(4) 行事委員会

◎重点目標

「行事を通して利用者様が楽しく、明るく、意欲的に施設生活を過ごせるよう企画・実施します。」

「それぞれのユニットと協同で、行事の企画、運営を図ります。」

「個々の趣味や特技を生かせる場を提供する」

◎取組内容

	内容	
4月	委員会（未開催）、宇治作業所パン販売、	全館
5月	委員会（7名）	
6月	委員会（8名）、おやつバイキング	全館
7月	委員会（8名）、七夕飾り、駄菓子販売	全館
8月	委員会（未開催）	
9月	委員会（未開催）、敬老会	全館
10月	委員会（未開催）	
11月	委員会（4名）	
12月	委員会（4名）、クリスマス会	全館
1月	委員会（未開催）	
2月	委員会（未開催）	
3月	委員会（未開催）	

◎評価及び課題について

昨年度同様 コロナ禍に伴い、各ユニットで個別の行事開催でした。

夏に予定していた行事は苑内でコロナのクラスターが続き、夏祭り、花火大会等開催を見送りました。

敬老会やクリスマス会も各ユニットでそれぞれが行う形で行いました。

クリスマス会のビンゴゲームはリモートを使って例年通り開催することができ、苑全体で楽しむことができました。

今年度は夏祭りや花火大会の開催を予定し制限をしながらでも苑全体で楽しめるよう取り組みたいと思います。

#### (5) 給食委員会

##### ◎重点目標

「美味しく、安心安全で適切な食事を提供しご利用者様お一人お一人に応じた健康管理を行う」

「施設内基準に基づいた栄養管理を行う」

「感染症の蔓延を最小限にするために配膳から提供までの対応策の周知を行う」

	取組内容（会議の実施,イベント,取組内容等を可能な限り数値化（人数,日付等）して記載してください）
4月	4/12 定例会議(参加者4名、欠席者3名)
5月	5/10 定例会議(参加者7名、欠席者1名)
6月	6/16 定例会議(参加者7名、欠席者0名)
7月	7/12 定例会議(参加者4名、欠席者3名)
8月	感染症により定例会議未実施
9月	感染症により定例会議未実施
10月	書面開催
11月	書面開催
12月	書面開催
1月	書面開催
2月	書面開催
3月	書面開催

##### ◎令和4年度計画に対する評価

提供している食事については、年間を通して行事以外のイベント食を月3回以上実施することができ、食に関する楽しみを毎月提供することが出来た。しかし、感染症により隔離期間が長かった月もあり、大きなイベントごとや実演は実施できなかった為、次年度は別日を設けてユニットごとに実施するなど代案を準備するように努めていく。

給食提供における感染症等マニュアルについては、令和4年度に起きた感染症等の振り返り時に改定した方が良いところがいくつか見られた為、都度見直していく必要があった。今後は、給食だけではなく、現場や他職種の協力も踏まえたマニュアルの訂正を行う

## 令和4年度 年間行事・イベント食 実施一覧表

月	行事名	メニュー名	おやつ	施設内全体行事
4月	桜メニュー(8日) 昭和の日(29日) 春メニュー	桜ちらし寿司 たけのご飯・鱈の木の芽焼き 季節商品メニュー		
5月	こどもの日(5日)	豆ごはん・洋風盛合わせ (海老フライ・ミニオムレツ)	こいのぼりゼリー(5日)	パン販売(25日)
6月	夏払いの節句(30日)	麦ごはん、牛肉と夏野菜の炒め物 茶わん蒸し(梅あん) とろろいも	水無月風 アイスセレクト(24日)	ケーキバイキング (22日)
7月	七夕(7日) 土用の丑(23日) 祇園祭	炊き込みご飯(半量)、七夕そうめん うなぎ散らし 鱧落とし	七夕ゼリー スイカ(14日) アイスセレクト(26日)	
8月	精進料理(15日)	生姜ご飯・夏野菜のかき揚げ		
9月	十五夜(10日)		50周年ケーキ(25日) お月見ゼリー	敬老弁当(30日) (敬老弁当・紅白饅頭)
10月	秋メニュー ハロウィン(31日)	季節メニュー	かぼちゃプリン(31日)	
11月	文化の日(3日) 勤労感謝の日(23日)	秋の散らし寿司 秋野菜のかき揚げ・粕汁	紅茶のシフォンケーキ (6日)	パン販売(18日)
12月	冬至 クリスマス(25日) 大晦日(31日)	南瓜・柚子を使用した食べ物 クリスマスメニュー 年越しそば(昼)・おしるこ	ティラミス(6日) クリスマスケーキ(25日) お汁粉	クリスマス会(16日) →バイキング
1月	お正月(1~3日) 七草粥	おせち・正月メニュー 七草粥 おでんセレクト	干支饅頭・甘酒 だいたいむーす ショコラプディング(16)	
2月	節分(3日) バレンタイン(14日)	巻きずし・イワシの梅おかか煮 カニ飯弁当(11日)	節分ポーロ チョコプリン(14日)	海鮮丼(23日) <b>家族会おしるこ(23日)</b>
3月	桃の節句(3日)	ひな散らし	三色ゼリー	ひな祭り(3日) (甘酒・ひなあられ)

(その他) 毎月1日 赤飯

毎月1回 セレクトメニュー  
季節の生果物  
パンメニュー(末日)  
散らし寿司  
季節のおやつ(ケーキ提供)



(6) サービス向上委員会

◎重点目標

(サービス向上委員会)

「職員のサービスの質の向上を図ると共に、ご利用者及びご家族のニーズを汲み取り、利用者様のQOLの向上を図ります。また、身多角的な視点・考察・共通理解を深め、より適正かつ円滑なサービスの向上を目指します。」

「ご家族交流が円滑に行え、家族の繋がりが保たれることを目指します。」

「接遇を強化し、宝生苑に関わる全ての方が快適なサービスと実感できることを目指します。」

(苦情処理適正化委員会)

「苦情に繋がらないよう些細なご要望から親切丁寧に対応し、満足度向上に努めます。」

◎評価及び課題について

令和4年度は施設内コロナウイルスクラスター事案の度重なる発生と担当者の交代等により、活動を休止しする。利用者満足度調査アンケートは委員会としてではなく、法人として継続して行った。令和3年度の継続課題として、マニュアル見直し、コロナ過における満足度調査の意向を反映した運営等を改善すべく対応を検討して参ります。

(7) リスクマネジメント委員会

(事故対策委員会、褥瘡対策委員会、身体拘束適正化委員会、高齢者虐待対策委員会)

◎重点目標

(事故対策委員会)

「ヒヤリハット報告の段階から事故対策をすることで重大事故の発生の抑制に繋がります。」

(身体拘束適正化)

「身体拘束をしないケアを実践するため、身体拘束をする際の弊害についての研修や意識調査の機会を作ることでスタッフの意識を高めるよう取り組みます。」

(高齢者虐待対策)

「不適切ケアの撲滅のための活動を通し、虐待の芽をつくらない環境を作ります。」

「権利擁護の視点をケアに取り入れられるよう、研修を通じ周知します。」

◎取組内容

	取組内容 (会議の実施, イベント, 取組内容等を可能な限り数値化 (人数, 日付等) して記載してください)
4月	4/26 開催、委員会メンバー9名中6名参加。今年度の取組みのすり合わせを実施。
5月	5/24 開催、委員会メンバー7名参加する。昨年度の事故の傾向について共有。
6月	委員会開催せず。(コロナ発生のため)
7月	委員会開催せず。(コロナ発生のため)
8月	8/23 開催、委員会メンバー2名参加。実施中の研修への参加、他注意事項の注意喚起を実施。
9月	委員会開催せず。(コロナ発生のため)
10月	10/25 開催。委員会メンバー7名に変更、全員参加。行政に報告する事故事例について共有。
11月	書面にて開催。委員会メンバーから集めたケースに対する回答をまとめ、全体への周知とした。
12月	委員会開催せず。(コロナ発生のため)
1月	1/24 開催、3名参加。次年度事業計画、ヒヤリハット様式の変更について検討する。

2月	2/28 開催、5名参加。マニュアルの見直しをする。
3月	3/28 開催、2名参加。3月中旬での事故集計結果を報告、ヒヤリハットの集計を依頼する。

◎評価及び課題について

①研修の実施（事故防止）

1回目は8月24日～9月3日まで。29名が研修参加

2回目は2月13日～3月5日まで。39名が研修参加

ヒヤリハット報告の提出件数が少ないという課題があったため、今年度の研修は2回ともヒヤリハットについて研修として取り上げました。

②ヒヤリハット報告の様式見直し

2回の研修とヒヤリハットの報告様式を見直したことで2023年2月以降のヒヤリハットが一部のユニットから多く報告されるようになっており、一定の成果が上がってきていると感じています。2022年度事故報告のグラフにおいても例年に比べ、ヒヤリハットの報告の伸びが確認できます。また、課題として年間を通じ、コロナ陽性者が発生する都度、委員会の開催が困難となり、まとまった議論が出来なかったことが挙げられました。

◎令和4年度の事故およびヒヤリハットの総数の集計（データ化）

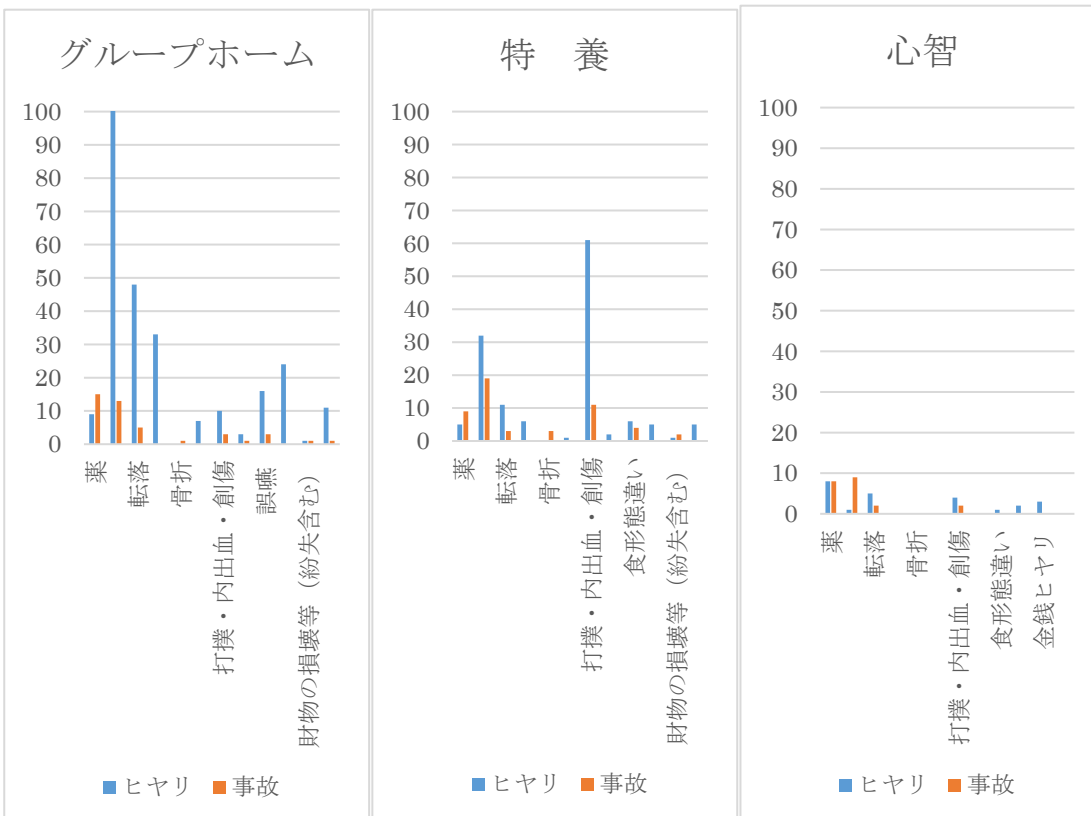
・事故の集計結果 苑全体 115件

内訳 転倒41件 転落10件 創傷・内出血16件 骨折4件 服薬関連32件

食事の提供間違い4件 誤嚥3件 離脱0件 異食7件

器物損壊3件 喧嘩0件 ユニット外に出て元の場所に戻れなかった等1件

（以下グラフをお願いします）



## 2019年、2020年、2021年、2022年のデータとの比較

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事故総数	137	101	142	115
ヒヤリ総数	36	276	461	534
事故種別	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
転倒	43	23	47	41
転落	11	8	4	10
転倒・転落合計	54	31	51	51
創傷	11	15	16	16（内出血含）
内出血	14	9	4	16（創傷含）
骨折	4	7	8	4
怪我等合計	29	31	28	20
誤薬	2	4	11	
落薬	24	10	12	
服薬忘れ	9	7	8	
薬の誤配	8	1	7	
薬関係合計	43	22	38	32

- ・事故やヒヤリハット報告作成の必要性を定期的な研修やユニット毎での周知活動の取り組みを続けた結果が数字に表れていると思います。
- ・心身の機能低下のみられる入居者様が増加してきておりますが、ヒヤリハット報告による課題の共有により重大事故の発生数を抑えられているものと考えています。
- ・宝生苑全体でのヒヤリハット報告の報告数は多くなってきていますが、報告の多いユニットとそうでないユニットに差が生じていることからどのユニットからもヒヤリハット報告が多く上がるよう、引き続き周知に努めていきたいと考えています。

## 高齢者虐待

- ・不適切ケアを撲滅する取り組みを継続して取り組んでいることで職員に対する意識付けができていると考えられます。

## 身体拘束適正化

- ・虐待防止の項でも取り上げている、不適切ケアを撲滅する取り組みを通じ職員の意識を高める作用が生じていると感じています。

## (8) 家族会（「宝生苑家族会」）

## ◎重点目標

「(福)ヤマト福祉会 宝生苑の入居（利用）者の家族（身元引受人）と一緒に、入居（利用）者向けのレクリエーション等を協議検討し、入居者の生活の質の向上に努めます。」

「家族会を通じて、家族同士の交流の場を作り、苑とご家族の交流の活性化を目指します。」

## ◎取組内容

- ・令和3年5月吉日 家族会総会 書面開催、アンケート実施

- ・令和3年9月20日 敬老会 収納ポーチのプレゼント
- ・令和3年11月 大掃除中止
- ・令和3年12月 クリスマス行事 靴下のプレゼント
- ・令和4年2月 『おしるこ』を提供。

◎評価及び課題について

≪評価≫

・今年度もコロナ禍で家族会総会や行事等を実施することができませんでした。また、家族会総会におかれましてもご家族の声を直接聞くことができず、新たな取り組みを行う事ができませんでした。

家族会からのプレゼントに関しては、今年度はブランケットや靴下といった、良い素材の物をプレゼントができご利用者からも大変喜ばれていました。

≪課題≫

- ・家族会総会が行えるよう考える。
- ・予算が余るため、プレゼント以外で使い道を考える

(9) 再発防止委員会（コンプライアンス委員会）

◎設置背景及び目的

令和2年5月に発生した、小規模多機能型居宅介護の訪問サービスのご利用者の自宅にて、当時小規模多機能所属の派遣職員がご利用者の所有の財物を窃取する経済的虐待に対して、当法人監事の野村まち子氏及び当法人評議員の河合悟氏の二人の外部委員に入って頂き、再発防止委員会を設置し主に以下の項目について取り組みました。

- ・法令順守マニュアルの制定
- ・訪問マニュアル及び金銭管理マニュアルの制定
- ・上記マニュアルなどについての職員への研修

委員会の報告については、毎回、京都市介護ケア推進課へ報告

◎委員会の開催

	取組内容（会議の実施,イベント,取組内容等を可能な限り数値化（人数,日付等）して記載してください）
4月	4/8 開催。外部委員2名含む9名で実施（1名欠席）。法令遵守・金銭管理・ハラスメント・身体拘束・高齢者虐待・権利擁護のそれぞれの内容について前年度の取り組み内容を振り返り、令和4年度の取り組みについて検討する。
5月	開催なし。
6月	6/7 開催。法人内委員7名で実施。金銭管理、ハラスメント、不適切ケアに関する対策（高齢者虐待・身体拘束）に関して4月で上がった検討課題について話し合う。
7月	7/8 開催。外部委員2名含む9名で実施。委員会構成メンバーの変更や法人内での取り組み内容（不適切ケア対策、金銭管理、ハラスメント対策等）を外部委員に報告。
8月	開催なし。
9月	開催なし。
10月	10/4 開催。法人内委員3名で実施。前回の振り返りと残課題（不適切ケア対策）の進捗、金銭管理の現状について話し合う。
11月	開催なし。
12月	開催なし。

1月	開催なし。
2月	2/7 開催。法人内委員 6 名で実施。10 月開催の委員会で検討した内容に関する進捗の確認。
3月	3/13 開催。外部委員 1 名含む 6 名で実施。令和 4 年度の実践内容の振り返りを報告。今後の取り組みの方向性を検討する。

◎評価及び課題

①研修の実施（高齢者虐待・身体拘束・金銭管理）

1 回目は 7 月 19 日～7 月 30 日まで。33 名が研修参加

2 回目は 3 月 6 日～3 月 20 日まで。22 名が研修参加

②不適切ケアをなくす取り組み

各ユニットでロールプレイを実践してもらいました。これは各ユニットが課題と考えるケアに関して「よい例・わるい例」をそれぞれのユニットで考えてもらい、利用者役の職員と介護する職員役に分かれてそれぞれの例を演じて頂く。またその姿を動画に収めるところまでを一連の取り組みとしています。

動画にすることで、介護者役の職員は普段の介護者としての言葉遣い、誘導の仕方を振り返ることができ、また利用者役の職員も介護者の声掛けに対し「どのように感じたか」振り返ることが可能となり、その場になかった職員も自らの同僚がしているケアや言葉遣い、誘導の方法を見て、それらの行動が適切であるのかを振り返られる機会となったと考えております。

このような取り組みは今後も定期的に全ユニットで実施して頂くよう働きかけていきたいと思っております。

③不適切ケアに関する意識調査

年 2 回実施、1 回は法人内虐待防止ガイドラインに基づく虐待の芽チェックアンケートを 2022 年 5 月 6 日～5 月 19 日にかけて実施。（33 名の職員が回答）2 回目の意識調査については、前項②で取り上げた不適切ケアロールプレイの動画を視聴して職員が感じたことを意見として集めたものを調査としてまとめています。

【課題】

定期的な開催が出来るよう、委員会の運営のあり方を検討する必要は感じています。

## 特別養護老人ホーム 宝生苑 事業報告

### <事業所の共通目標>

人材育成については、職員1名がユニットリーダー研修の資格習得する事ができました。

また、感染予防（手洗い、ガウンテクニック）等、ユニット内研修を実施しました。外部研修については、講師を招いた対面での研修を行う事ができませんでしたが、次年度は職員のスキルアップに繋げるためにも取り組みたいと思います。

ご利用者につきましては、今年度も引き続き、コロナ禍で面会や外出の機会が自粛しているなか、ご家族にも安心して頂けるよう、ユニット活動報告を SNS で掲載やユニット新聞を作成し郵送する事で楽しい様子がわかるように取り組みました。あと、緊急度の高いご利用者につきましては、自室での家族面会をおこない、家族様と一緒にケアの取組を行いました。

### <健康管理>

・看護と介護でご利用者の健康について話し合い、日々の体調管理にかかわる業務に努めております。また、病院受診については、体調の早期発見に努めご家族及び協力医療機関と連携しスムーズに病院受診を行って来ました。

・施設での看取り介護につきましては、その都度、ご家族に連絡させて頂き、身体状況や体調の変化を報告し今後の治療方針等の意向を伺い、施設で行える医療を提供してまいりました。

※令和4年度、2人が施設で看取られました。

### <経営管理>

年間平均稼働率： 90.5%

長期入院で空の部屋がでたら、空床ショートのアラームさせて頂き、1件のご利用がありました。しかし、コロナ禍中ご利用件数を増やすことはできませんでした。

## 1. ユニットさくら

### (1) ユニット目標

- ・お一人お一人の気持ちを大切に、尊厳と権利を尊重し安心した生活が送れるよう支援します。
- ・職員同士向上心を持って、士気を高められるようなチームを作ります。

### (2) 行動指針

- ・無理強いせず、自己決定できる環境を提供します。  
利用者様とのコミュニケーションを深め、利用者様の思いを聞き取りケアに繋がります。
- ・お互いに注意し合える環境づくりをします。  
他者からの言葉に左右されるのではなく、自分の言葉に責任を持ちます。

### (3) ユニットの取り組み計画

- ① 担当職員が入居者様の変化や状況に応じたカンファレンスを行う。
- ② 入居者様の誕生日月には、担当職員が情報を聞き取り、希望に沿ったレクを実施する。

- ③ 職員間で感謝の気持ちと思いやりを持って業務を行う。
- ④ お互いに注意することで向上心を高める。

(4) 取り組んだ内容。

- ① 必要時応じ、月に1回以上のカンファレンスは行っていた。
- ② お誕生日会に合わせてのレク等、月に1回以上開催した。
- ③ 挨拶や、感謝の気持ちは声に出して伝えられていた。

令和4年度レクリエーション内容。

4月 お花見ドライブ（伏見桃山城）4/5 4/6 4/9 3回に分けて行う。

皆さん「きれいや。きれいや。」と、とても喜んでいただけた。

4/28 さくらまつり。ユニット内で、お好み焼き、そうめん、を出店風にセッティングしお祭りを楽しんでいただいた。

5月 お誕生日会。ハンバーグを皆さんと一緒に作り、お誕生日の方のお祝いをした。

6月 フルーツサンド作り。

昔によく作られた、サンドウィッチを思い出されて楽しそうにパンに乗せておられた。

7月 夏祭り。ユニット内で祭りを開催。

たこ焼きや、ベトナム料理を楽しんでいただいた。

8月 流しそうめん。

流れてくるそうめんを お箸で取ろうと真剣な目つきで頑張っておられた。

9月 来月のお寿司レクに予算を備える為中止。

10月 お寿司レク。 銀のさらのお寿司を注文。とても喜んでおられた。あまり召し上がらない方もお寿司は沢山召し上がられた。

11月 紅葉ドライブ（勸修寺）11/18 11/22 11/25 3回に分けて行う。

どの日も天候に恵まれ、とてもいい表情が見られた。

11/28 かす汁作り。皆さんで具材を切る事から参加していただき、調理していた頃を思い出しておられた。

1月 新年会。すき焼パーティー、お年玉交換。

具材を切る事から参加していただき、お年玉交換の時は、とてもいい笑顔を見られた。

2月 お誕生日会。デコレーションケーキ作り。

スポンジに生クリームや、フルーツをのせて頂き、とても美味しそうなケーキが出来上がりました。

3月 ファーストフードを楽しんでいただく。

マクドナルドに行った雰囲気を楽しんで頂く。

(5) 取り組みについての評価

レクリエーションはとても充実したものが出来ていたと思います。入居者様も普段見られない表情、行動が発見出来ました。

取り組み内容としてはしっかりできていた。

## 2. ユニット春風

### (1) ユニット目標

昨年に比べ職員同士の関係性はよくなり、職員間で仕事やそれ以外の話も活発に行い、仲間意識も生まれている。コミュニケーションの改善が業務上の情報共有やスムーズな業務の遂行など仕事の質の向上にも一定程度効果が見られた。

### (2) 行動指針

行動指針の中では、職員間で利用者の小さな変化への気付きなどの情報共有が行えていた。利用者に対して日頃から洗濯物畳み等の役割作りを行ったり、塗り絵が好きな利用者塗り絵を提供して取り組んでもらうなど利用者に応じたケアを行った。

課題としてはユニット内の清掃や整理整頓、職員の自発的な行動について改善の余地があると考え。また行動指針の内容が職員に十分に浸透していないため、掲示をしたり、職員に配布と説明が必要である。

### (3) ケアカンファ開催日程・結果報告（年間）

概ね毎月1回開催した。利用者の状態の変化への対応などその時々懸案事項について、多職種も参加して意見交換を行った。また利用者の退院時や入居時など必要に応じてカンファレンスを開催した。

### (4) 行事計画・結果報告（年間）

年間で誕生日会やお茶会など計5回のレクリエーションを行った。新型コロナウイルスの集団感染等により9月以降は行事開催をする余裕がなくなり、その後も感染状況の様子を見るため自粛してしまった。今年に入り感染状況が落ち着いてきたため誕生日会などのレクリエーションを再開した。

### (5) 職員育成状況（現状の情報や育成課題など）

派遣社員の新人職員が短期間で入れ替わり、人材が定着しない状況が続いた。無資格未経験で介護の仕事への動機付けがない人も多く、指導する職員の負担も大きかったのではないかと思う。指導においては介護技術の習得よりも利用者本位などの基本的な態度を身に付けてもらうことの難しさを感じる。指導においては日によって担当者が変わり、教え方が異なることがあるため、新人職員が混乱する場面があった。

### (6) サービス品質管理（社会通念上の特養、GH、小規模のサービスと比較して評価）

食事、入浴、排せつを中心に利用者に対する標準的な水準のケアは行っていたと考える。サービスの品質を高めるためには気付いたことは率先して行うこと、利用者への細やかな気遣いや配慮が必要だと考える。また3Fの利用者は要介護度が高く、褥瘡や誤嚥性肺炎のリスクがある方が多いため、職員一人ひとりが介護知識、介護技術のレベルアップを図り、状況に応じた適切な対応ができるようになる必要がある。



### 3. ユニット清水

#### (1) ユニット目標

職員一人ひとりが入居者様に対し同じ対応ができるように、その都度ケアカンファなど実施しケアの見直しを行い統一した。入居者様の体調変化に伴い迅速な対応の変更が必要な際には他職種、役責間で定例外のケアカンファを実施し見直しを行った。

また日頃から、報連相を徹底して行うよう周知し、忘れがちな職員には意識するように声掛けをしました。

#### (3) ケアカンファ開催日程・結果報告（年間）

毎月、第三金曜にユニット職員と他職種含め実施した。コロナ感染によるゾーニング中は実施を見送りました。

#### (4) 行事計画・結果報告（年間）

- ・特に直接介助に入る際にはマスク、ゴーグルを必ず装着するよう日頃から周知し定着するよう努力した。忘れがちな職員に対しても、皆で声掛けし定着するようにした。
- ・年間8回実施した。内訳（誕生日会6回、おやつレク、お茶会）清水、春風で合同実施しました。
- ・4月の末に両ユニットの入居者様をつれ山科川まで桜をみに行きました。
- ・個々の身体的状況に合わせて安心してリラックスして入浴できるようその都度配慮しました。

#### (5) 行事計画・結果報告（年間）

悩みのある職員がいたら、その都度話を聴き一緒に解決する努力をした。職員が孤立しないように普段からコミュニケーションをこまめにとる努力をしました。

## グループホーム 宝生苑 事業報告

### <事業所の共通目標>

「ご入居者にとっての【あたりまえの暮らし】や、ご家族が『こういうふうに過ごしてほしい』と思う暮らしの実現をサポートします。」

今年も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、ご家族や親しくされている方との面会や外出を制限してきました。ご入居者が自由に外出できる、ご家族に会えるという「あたりまえ」、ご家族においても、自由にお父様お母様に会えない環境を強いてきたことから、暮らしぶりを伝えるお手紙を定期的に（おおむね1か月を目安に）送付する他、電話での連絡をする際には心身の状態や変化等の報告をすることを心がけました。

2022年に入り、宝生苑のグループホームにおいても、コロナウイルスへの感染者が発生し、そのたびにご家族の皆様にご連絡を入れてきたことから、ご心配をお掛けしてきたことと思います。

今後も引き続き感染対策を考えていく必要はありますが、皆様の当たり前の暮らしを実現するための面会や外出機会の確保、生活の中での役割作りをしていかないといけないと考えております。

### <健康管理>

かかりつけ医とは入居者の体調変化の際に電話やLINEを用いた伝達ができる体制をとっています。

この連絡は看護職員からだけでなく、体調変化に気付いた介護職員からも連絡を入れることができるようにしており、入居者に急変があってもかかりつけ医からの指示を仰ぐことができます。

2021年度の主な入院理由として、転倒による骨折を主因とする入院が1件、体調不良等の理由による入院が14件、服薬調整のための入院は2件と体調不良による入院が主となりました。

要介護度の推移については、2020年度：2.71、2021年度：2.91、2022年度：3.09と毎年上昇してきました。今後も同様の経過をたどると考えておりますが、2022年度は6名の退去者がありました。退去者の要介護度は3～5と重度の方が多く、退去者に入れ替わる新規入居者の介護度は1～3と軽度者が多いため、2023年度のご入居者の介護度は若干の低下が見込まれます。とはいえ、現入居者の心身の機能低下は引き続きみられることから、重度化の進む現入居者と比較的元気な新入居者双方に対するケアを柔軟にすすめていく必要を感じています。

### <経営管理>

年間平均稼働率： 89.5%

2022年4月から2023年3月までの未契約日数は累計で680日でした。退去者は4月に2名、8月に1名、10月に1名、1月に2名、3月の1名の計7名、2022年3月末にも退去者がいて、4月初頭からの未契約日数にも影響が生じています。

併せて体調不良その他の理由での入院者も多く、2022年4月から2023年3月に至る入院日数累計は343日分となりました（前年度は280日）。健康管理の要介護度の推移のところでも触れている通り、入居者の重度化が入院日数の増加の主な原因だと考えております。

2021年度以前過去3年の退去者数が2～3名であることを考えると2倍以上の退去者、入院者も前年度と比較して63日増加していることが稼働率の低迷に繋がったと推測しております。

## 1. ユニット太陽

### (1) ユニット目標

「安全、安心、気持ちよく生活できる環境をつくります。」

「ケアの統一をし、個々に合った生活、余暇の支援を行います。」

「細やかなケアの実現のため、気遣い・心遣いが出来るようになります。」

「その人が今まで大事にしてきた暮らしにこだわりその人のペースで暮らしが送れるようにサポートしていきます。」

### (2) 行動指針

- ・職員同士コミュニケーションをしっかりと取り、情報の共有に努めます。
- ・相手に伝わる話し方を心がけ、伝わっているかをきちんと確認します。
- ・ご入居者お一人お一人に同じ目線で話しかけ、信頼していただける様な関係作りに取り組みます。

### (3) ユニットの取組内容

- ・相手に伝わるよう紙に書いたり、大きな声で話しかけ、伝わっているかを確認し、行動できていた
- ・できる限り今までの暮らしの継続ができるよう一人ひとりのペースに合わせてサポートしていた。
- ・コミュニケーションをしっかりと、利用者様の言葉をしっかりと受け止める事で、信頼関係が築けている
- ・お一人おひとりの生活歴の中から出来る事、得意なことを見つけて、日々の中に取り入れ、自信に繋げている
- ・ユニットの行事として誕生日会、節分に豆まき、ひな祭り、母の日、父の日、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会などを開催
- ・各居室など、4Sが出来ていない事が多々あった。
- ・連絡を取れる環境は整っているが、内容に不備があったり、情報がつたわっていないことがあった。

## 2. ユニットねね

### (1) ユニット目標

#### (目標)

「ご入居者の気持ちを考えながら、毎日笑顔で暮らすことができるよう関わります。」

### (2) 行動指針

- ・ご入居者にとっての普通を知ることで心身の小さな変化に気づけるよう努めます。
- ・高齢者の心身の機能低下や気持ちの移り変わりがどのようなものかを我がことに置き換えてケアに当たるようにします。

- ・ご入居者と職員の関わりを通し、楽しい雰囲気作りに努め、笑顔で過ごせるよう支援します。
- ・コロナ禍や他の感染症の危険性がある以外にご家族やお知り合いの方がご入居者に気軽に会いに来られるよう環境を整えます。
- ・ご入居者の今の姿をご家族が知ることができるよう、定期的に写真や動画をご家族に送ります。

### (3) ユニットの取組内容

- ・7月からリーダー、副リーダーとしてねねユニットに配属され、ユニットに慣れることから始まり9月に看取りをし9月に新入居者様を迎え、転倒骨折し入院されたり、コロナのクラスターが発生したりと中々ユニットで取り組むところまでは至りませんでした。

ユニットの印象として自立した方が多かった為、職員は自立支援がしっかり定着している評価します。

ご本人の意思確認や言葉がけを大切にしており、入居者様の意思が尊重されています。

秋口から新しい入居者様を迎えたり、入院された入居者様が戻られ、入居者様の健康状態やADLが大きく変わり、支援内容の見直しています。

ユニット目標に取り組むのが一部難しいところがあり、5年度は少し内容を変更して対応して参ります。

外出の支援は令和5年度に入り、近場の散歩など月1回は取り組むことができています。

季節を感じられるようにユニットの飾りつけを毎月変え可能な限り入居者様と一緒に作成しています。

食事に対しては健康に留意し季節の食事やおやつを提供を心掛けています。

ご家族との面会の制限があるため、近況報告を8月から毎月一回送付し、普段のご様子を伝えていきます。

ご家族との連絡を密にとり、信頼関係の構築に取り組んでおります。

## 3. ユニット大地

### (1) ユニット目標

「ご入居者が自分らしく生きがいをもって、楽しく生活できるよう支援します」

「個々のケアの統一をし、安心して生活できる環境を提供します。」

「コミュニケーションを大切にし、互いの思いを理解する」

### (2) 行動指針

- ・その人らしさを第一に考え、楽しみや役割を見つけます。
- ・安心して生活できるよう、スタッフ間での情報共有に努め個別ケアの統一を図ります。
- ・ご入居者お一人お一人に深く関わり思いや意向をケアにつなげます。
- ・スタッフ同士コミュニケーションを取り、チームワークを大切にします。

### (3) ユニットの取組内容

スタッフ同士がコミュニケーションを取り合い、チームワークを高めるために、日常的に細やかなミーティングを繰り返して参りました。業務内容や課題や問題点の共有、改善策の検討などを行い、スタッフ同士のコミュニケーションを促進してきました。

スタッフが業務の役割を理解し、スタッフ同士が協力しながら業務を進めることを重要と考え、

スタッフ同士がコミュニケーションを取り合い、お互いに支援し合うことで、仕事を円滑に進めることができるように取り組んできました。

ご入居者様同士のコミュニケーションの機会を提供するため、席の配置やテレビの見える位置の席を工夫などして、ご利用者様が喜んで頂けるよう YouTube に歌をアップして、視聴して頂けるように務めてきました。

ご利用者様が安心して生活ができるよう、スタッフのケアの統一のために、スタッフ全員がケアの目的や方法を日常的に共有しております。ご入居者様のコミュニケーションの方法、対応方法などを確認しあい、業務に取り組むようにしておりました。

## 小規模多機能居宅介護 宝生苑 事業報告

### <経営管理>

年間平均稼働率： 66.2%

#### 1. ユニット心智

##### (1) ユニット目標

「心にゆとりを持って業務に取り組む」

「人とつながりとその人の思いに寄り添ったケアを大切にします。」

「ご利用者の持っている力を最大限に活用し、アタリマエの暮らしとその思いに寄り添い真心をもったケアを大切にします」

##### (2) 行動指針

- ・職員同士のコミュニケーションを大切にしてチームワークを高めていきます。
- ・ご利用者の思いを大切に信頼されることを目指します。
- ・利用者様、家族様とのコミュニケーションを大切に良好な信頼関係を築く。

##### (3) ユニットの取組内容

- ・職員同士の情報共有やユニットカンファレンスでご利用者の出来る事などを探し実践してみる、出来る事が増えた。
- ・毎日の日課や今まで家でしていた洗濯たみ、字を書くことなどが継続できた。
- ・入浴剤など種類を増やし気持ちよく入浴してもらえた。
- ・フローアを季節感感じられる設えに出来た、ご利用者と一緒に作成をした。
- ・ご利用者のしたい事は出来るだけ出来るように考え難しい時は理由を本人に伝えるように心がけた。

(4) 行事報告 (令和4年4月～令和5年3月)【令和4年】

- ・4月5日…(場所)乃木神社(目的)花見を楽しむ(参加人数)2名
- ・4月7日…(場所)乃木神社(目的)お花見会(参加人数)4名
- ・4月6日…(場所)乃木神社(目的)お花見を楽しむ(参加人数)4名
- ・4月22日…(食事)お寿司(目的)誕生日会(参加人数)12名
- ・5月11日…(場所)びわ湖米プラザ(目的)ドライブ・びわ湖を眺めてリフレッシュ  
(参加人数)3名
- ・5月19日…(食事)お寿司(目的)誕生日会・おいしい物を食べてストレス発散  
(参加人数)14名
- ・6月9日…(場所)びわ湖米プラザ(目的)ドライブ・びわ湖を眺めてリフレッシュ  
(参加人数)2名
- ・6月16日…(食事)ちらし寿司、天ぷら(目的)誕生日会、お祭り騒ぎでリフレッシュ  
(参加人数)12名
- ・7月14日…(食事)ちらし寿司、流しそうめん(目的)猛暑の中涼風を感じ夏バテ予防  
(参加人数)12名
- ・8月18日…(食事)混ぜご飯、おでん、手作りケーキ(目的)熱いおでんを食べ暑い夏を乗り切ろう  
(参加人数)14名
- ・9月20日…(食事)たこ焼、アメリカンドック、カレー、かき氷、クレープ(目的)秋祭り  
(参加人数)12名
- ・9月20日…秋祭り出し物 ヨーヨーつり、ボール当てゲーム
- ・10月7日…心智運動会 チーム対抗玉入れ、ミニサッカーゲーム、射的(参加人数)12名
- ・10月21日…(食事)くら寿司・うどん(目的)ご利用者のリクエストお寿司が食べたい  
(参加人数)12名
- ・11月7日…(場所)伏見桃山城(目的)紅葉秋の風情を感じよう(参加人数)3名
- ・11月9日…(場所)伏見桃山城(目的)久しぶりの外出でリフレッシュ(参加人数)3名
- ・11月22日…(食事)かす汁、ちらし寿司、天ぷら、ケーキ(目的)お誕生日会、だんだん寒くなっ  
てきたので心も体も温まる食事を食べる会(参加人数)15名
- ・12月22日…(食事)手づくり餃子、チャーハン、野菜炒め(目的)年の瀬に美味しい物を食べて来  
年も頑張ろう(参加人数)13名

【令和5年】

- ・1月18日…(食事)ちらし寿司、肉じゃが、かす汁、ほうれん草のお浸し(目的)誕生日会、コロナ  
明けでおいしい物を食べてストレス発散(参加人数)15名
- ・2月13日…(食事)たこ焼、お好み焼き、焼きそば、ケーキ(目的)寒い冬に温かい物を食べて元気  
になろう(参加人数)13名
- ・3月10日…(食事)かやくご飯、豚汁、さくらエビと春菊のかき揚げ(目的)旬の野菜を食べて春の  
味覚を楽しもう(参加人数)14名
- ・3月29日…ギター演奏会(目的)春の音楽を楽しむ会(参加人数)13名
- ・3月28日…(場所)山科川堤防(目的)満開のさくらを見て気持ちをリフレッシュ(参加人数)3名
- ・3月30日…(場所)膳所城跡公園(目的)外出で気分転換さくらを見に行こう(参加人数)2名
- ・3月31日…(場所)苑外周(目的)お花見で気持ちリフレッシュ(参加人数)5名 以上